

Fighting Japanese
Meeting

01

西日本若手女子本音トーク
In Korea >>



光岡 × 福家 × 河原

「先に言っておくね。
ごちそうさまです (笑)」



プロ入り年度はきれいに一つ違いで、JPBA 西日本に所属し、ルーキーイヤーから華々しい活躍を続けるも準優勝が多めで、キューは同じメーカーで、海外遠征には積極的に行きたい派——そんな共通項を持つのが光岡純子、福家美幸、河原千尋の「働き盛り3人娘」。2月に韓国で行われた『KPT チャンピオンシップ』の最終日、宿泊したホテルの光岡の部屋に3人が集合。戦友でありライバルでもある3人の「建前抜き直球トーク」をどうぞ。

取材・文 ● On the hill !





海外遠征先の食へ物

「辛い物と臭い物、それに
気持ち悪い物がダメ」

——KPTチャンピオンシップ、お疲れ様でした。

3人 お疲れ様でした。

河原千尋(以下、河) 今回は本当にダメダメでしたね。入れんし、出せんし……。

光岡純子(以下、光) 私は去年「負け負け」だったんで、今年はずっと頑張ろうと思ってたんですけど……。まあ、曾根(恭子)さんに負けたのは全然納得いくんですが、次の韓国の子には勝てないよねえ。

河 私も同じ相手に負けちゃいました……。

福家美幸(以下、福) 私は別に調子も悪かった訳ではないし、出来も悪くなかったんですけど、結果は出ませんでした。2敗はどっちも日本人が相手。チャンスはあったのに、それをものにできなかったのは残念です。

光 試合は試合。海外だからって何が違って訳ではないんですけどねえ。

——河原プロと福家プロは、今年いきなり1月に優勝して(河原が『全日本女子プロツアー第1戦』、福家が『関西ナイン』)、好スタートを切りましたが、何か変えたこととかあったんですか？

河 みつつんも同じだと思うんですけど、メッツのプロスタッフになったのは気持ちの上で大きく違いました。「頑張らなきゃ」と思いましたから。福

私は全日本女子プロツアーがボロボロでしたから。「次は頑張らなきゃ」と思って。2人より先にメッツのプロスタッフになっている分、負けられないという気持ちもあつたかな。

——なるほど。今回もそうですね、試合があるたびに移動しなければいけない訳ですが、遠征に必ず持っていく物とかありますか？

福 私は特にないですね。

光 このタオルケットです。どこでも持ち歩いてますね。やっぱりいつもと同じように寝たいって気持ちがあるじゃないですか。でも昨晚、ちゃん(河原プロ)に取られて……。わかるでしょ？ 気持ちいいでしょ(笑)。

——河原プロは何かありますか？

河 私は特にないですね。食べ物も大丈夫だし。

福 私は辛い物と、臭い物、それに気持ち悪い物がダメ。

河 辛い物と臭い物はわかるけど、気持ち悪い物って何？

福 気持ち悪い物があるんだって。何かわからない物体。ドーハ(06年末アジア大会)はそんなのばかりでした。イカとか、肉とか、物がわかればいいんですよ。でも得体の知れない物はダメ。だから南の方はどちらかというと苦手ですね。匂いがダメ。

光 えーそうなの？ 確かに日本とはちよつと違うとは思うけど。

河 私の場合、台湾は2日もいたら慣れましたけど。今まで行った台湾、韓国、フィリピンの中では食べ物はずいぶんが一番合わなかったです。ハン



光岡純子 Junko Mitsuoka

JPBA38 期生
1976年12月18日生 射手座の？
型

'04年西日本女子プロツアー第2戦優勝、'06年北陸オープン準優勝。強烈なブレイクを武器にする攻撃型プレイヤー。愛知県出身。プレーキューはMEZZ。ニックネームはみつつん

「あの頃は無欲で撞けてた。今は欲が出まくってて(笑)」(光岡)

光 東北の方とか全然女子の試合がないじゃないですか。やっぱり端と端は行きたいですね。前も移動中に話してたんだよね。チャレンジマッチツアーとか回りたいねって。

河 女子はそういう機会がなかなかないですから。

互いの印象・福家編

「ガッツじゃなくて頭脳派？
クール美幸みたいな」

—それではここからが本題です。プレイヤーとしての互いの印象について話していただけますか？

光 じゃあまず、大阪軍団2人が讃岐女を斬る、みたいな感じでみーたんから生け贄に。私のみーたんのイメージは、ガッツって感じじゃなくて、頭脳派。「クール美幸」みたいな。

河 おー。

光 イメージ、イメージね。

河 クールね、クールに勝って行くみたいないな。

福 カッコよすぎない？(笑)

光 でも、そういう感じ。勝っても負けても、感情は内に秘めてるって感じ。

河 私から見る美幸さんは、プロ入りにすぐ準優勝したり、いつも上位に残ってたり、スゴイのにめっちゃ謙虚。

メッチャ良い球撞きしてるのに、「たまたまね」って感じで。

光 プロ入りすぐの関西ナイン(03年)で準優勝？ 世界選手権(04年)も9位だし。

福 たまたまね(笑)。

河「たまたまはそんなにいつも続きませんよ」って言うんですけどね。

福 最初の関西ナインはもう無我夢中だったし、オーストリアの世界選手権の時はコンディションが私に合ってたのがラッキーだっただけです。

光 ジャパンオープンも準優勝(05年)でしょ？

福 ジャパンオープンは1年目が負け負け。次の日決勝会場に行って、絶対ここで撞きたいって思ったんですよ。で、2年目は頑張って、高淑品(台湾)に負けての3位。3年目がフィナルで周萌萌(中国)に負けて準優勝でした。去年はアマミット(フィリピン)に撲殺されましたけど。

河 撲殺(笑)。

福 本当に撲殺だったんだって。気合い入れてノースリーブで臨んだのに全然撞けなくて。寒くて上着着ちゃいました。今年は頑張ります。

光 プロ入り初優勝が3年目？

福 そう、3年目。3年目までに優勝しないとプロでは目が出ないって周り

から言われてて。
河 それ、よく聞くよね。
福 だから私は今年勝てなかったらダメだなんて思ってました。それから今年の関西ナインまでしばらく勝てませんでしたけど、それが実力。

互いの印象・河原編

「プロになったらもっと
勝ちまくるだろうなって」

光 じゃあ、次はちゃんにする？

河 やった。2番が良かった(笑)。

福 私、ちゃんがアマチュアの時に当たってるんですね。その時に、「ああ、プロになるんだろうなあ」って思った。なったらもっともって勝ちまくるんじゃないかと思ってました。

河 この前の全日本女子プロツアーが通算3勝目でした。でも2勝した1年目は予選落ちもメッチャしましたよ。私からすれば美幸さんみたいなタイプが珍しいと思うんですよ。どの試合でも上位に残るなんて。ランキングが低いと忤も厳しいし。

光 私から見たちゃんは……。よく一緒に練習するんですよ。で、当然なんですけど私と違うんですよ。「ああ、そう取るんだ」とか「そういうショットスピードで撞くんか」とか。私とちゃんほぼ同時期にメッツのプロスタックになって、ほとんど同じ柄の色違いのキューを使ってるんですけど、シャフトの選択だけ違うんです。

河 私がハイブリッドプロIIで、みつんがWD700。

バーガーは美味しかったんですけど。
光 食べ物日本自分で作るのが一番ですね。

—光岡プロは料理が上手いとよく聞きますが。

光 いえいえ、そんなことは(笑)。でも自分で作るのが一番安心するし。なんか、「この味この味」みたいな感じで落ち着きます。

—みなさんは1年中、色々なところを試合で回ってますが、国内で行きたい所ってありますか？

河 沖縄！

福 そう、あと北海道。北と南。

光 私は撞いた感触がどうもハイブリッドプロIIは合わなくて。WD700の方がスムーズに撞けたんです。でもちゃんはいブリッドプロIIを選んだから、やっぱり違うんだなあ。そう、そういう違いが面白いんですよ。それに若いから日々進化してる。負けてられないなあって思うんです。ちゃんと8つも離れてますから。福 ちゃんはい一球一球丁寧って感じ。撞点をきっちり決めてしつかり撞く。河 私、そんな感じですか？ でも1年目は確かにそうでしたね。光 最初の頃に比べるとリズムが良くなったよね。河 プロ入りしてからスタイルをがらりと変えましたね。以前は真ん中に近い撞点を撞いて、あんまり手を動かさない球撞きをしてたんですけど、今はヒネるところはしつかりヒネるし、クッションもよく使うようになりました。前は引いて出していたのを、今は切り返しを使ったり。福 取り方のバリエーションが増え

たつてことでしょ。ヒネるヒネらないはすごく個人差がありますね。三浦陽子さんなんかはヒネる方だし、ヒネらない人は全然ヒネりませんから。河 まだまだ、学ぶことはいっぱいありますね。

互いの印象・光岡編

「ゲームボールは必ず難しくなる。そして入れる」

福 じゃあ、次。みつつんは……。光 でも、私とみーたんって試合であまり当たらないもんね。河 そう言えばこの3人はあまり当たりませんね(笑)。光 当たるべきところでどっちかが先に負けちゃうことが多い(笑)。

福 みつつんは、先球を入れるのが上手い。

河 あと、ゆっくり撞くのが上手い。

福 そうそう、ゴロが上手い。

光 何、ゴロって？

福 手球をコロコロと転がして、ゆっくりの球も転がっていくような球。あと、今まで試合で当たった経験だと、ゲームボールは必ず難しい球になる。そして入れる。

河(大笑) わかるわかる。光 いつもそんな風になっちゃってるんだよね。テンパって、やっちゃってるんだよね。

河 ラストマスはいっぱいいっぱいみたいな。光 そう、そういう球撞きかも、私……。

「初勝利からしばらく勝てなかつたけど、それが実力」

(福家)



福家美幸
Miyuki Fuke

JPBA37期生
1979年1月13日生 山羊座のA型
'06年ドーハアジア大会代表、'07年関西9ボールオープン優勝、'07年ジャパンオープン優勝。プロテストで当時の女子最高点を記録。昨年は日本代表としてドーハへ。香川県出身。プレーキューはMEZZ。ニックネームはみーたん

河原千尋 Chihiro Kawahara

JPBA39 期生
1985年1月5日生 山羊座のA型
'05年セントラルレディースオープン優勝、'07年全日本女子プロツアー第1戦優勝。プロ入り初年度にいきなり2勝を上げた若手女子の一番手。大阪府出身。プレーキューはMEZZ。ニックネームはちゃん



「1年ぶりに優勝して達成感が違っていてしみじみ思った」 (河原)

福 そうそう。
光 ダメな時、ブレイクだけの練習もしてらるんですけどね。1時間半ずつブレイクばかりやったり。私はブレイクの時、手球がジャンプしてらるんですけど、そのジャンプの高さを変えてみたり、フォロースルーを変えてみたり、色々試してみますね。それで良くなり、色々新しい発見があることもあります。

共通点は「準優勝」？

「今年一番上だった人に2人がおごる、とか？」

——ちなみに3人には、「準優勝が多い」という共通点がありますよね。

光 はは、私は去年3回準優勝。

河 私も去年はたくさんやりましたね。4回連続準優勝。

福 私は一生優勝できない星の下に生まれたのかなって思っていました。

光 ずっと言っていたもんね。

福 プロ入りから6回連続準優勝……。「また2着？」とか知り合いに言われますからね。最初の頃は「準優勝、スゴイね！」とか言ってくれたのに(笑)。

河 やっぱ優勝と準優勝では全然違いますよね。この前、約1年ぶりに優

勝できて、達成感が違っていてしみじみ思いました。

光 私なんかもう、優勝した時どんなだったか忘れちゃった(笑)。だって、プロになって結構すぐ(04年)だったから、わからなかったんですよ、優勝っていうものの価値が。あの頃は無欲で撞けてたんですね。でも、今は欲がまわくわくして(笑)。それが良い時も悪い時もあるんですけど、今優勝できたら泣いちゃうくらい嬉しいでしょうね。北陸オープン(06年)の決勝もずっとそう思ってた。でも、そんなことは一切気にせず、きちんと集中して試合をしている新保(まり子)さんを見て「ああ、こりゃ負けたな」って思いました。

——3人のランキング、今かなり接近してますよね。1月末の時点で福家プロ7位、河原プロ9位、光岡プロ10位。

光 じゃあ、何かいっとく？ 今年一番ランキングが上だった人に、負けた2人がおごる、とか？

河 えー。

福 食事をおごるとか？

光 旅行は？

河 北海道か沖縄!?

福 そりゃ熱いなあ。

河 やっぱ沖縄かな。

福 そう、沖縄。



光 じゃあ、勝った人が行く場所を決めるってどう？

河 国内限定ね。

福 ハワイとかなしね(笑)。

光 せっつったたい頑張り。先に言っておくね、ごちそうさまです(笑)。

福&河 ごちそうさまです!

河 ちなみに今、みつつんが一番不利だからね。

光 とりあえず、去年みたいに全日本選手権の負け負けは避けよう(笑)。

——では、3人とも頑張ってください!